

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101041100		事業の種類	4	
年度	26	事務事業名	相生市空き家バンク事業		予算事業名		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	企画総務部定住促進室		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	松尾 次郎	担当者名	北條 麻梨香
取組み事項		定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	有	主要事業の指定	有
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市空き家情報登録制度「空き家バンク」設置要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に空き家を所有する者及び市内の空き家の利用を希望する者					
	誰(何)を対象として	市内に空き家を所有する者及び市内の空き家の利用を希望する者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内の空き家を利活用し、定住を促進する					
事業の全体年度		事業着手年度			(年度)	事業完了予定年度	(年度)

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内における空き家等の有効活用を通じて、都市間の交流拡大及び定住促進による地域の活性化を図る。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	登録物件数	件	6	2	3	10	
	成約件数	件	3	0	1	5	
	利用者登録件数	件	7	5	7	10	
	市内空き家件数	件	-	780	-	-	

3 投入資源

		会計区分	事業費単位:円						
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.027	-	0.026	96	
	参事以下職員				0.112		0.332	296	
	臨時職員				0.072		0.116	161	
支出内訳	人件費				1,401,269		3,188,110	228	
	事業費								
	合計				1,401,269		3,188,110	228	
財源内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	市債								
	その他								
	一般財源				1,401,269		3,188,110	228	
合計				1,401,269		3,188,110	228		

※ 事業の進捗状況

		事業費単位:円			
項目	24年度	25年度	26年度	27年度	
全体進捗率	事業費累計				
	進捗率				

4 評価指標

【有効性】

指標名1		物件登録件数のうちの成約件数の割合							
指標説明(式)		成約件数÷物件登録件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	-	-	-	0.5	-	0.5	100.0	
	実績	0.5	0	0.0	0.33				
指標名2		ホームページアクセス数							
指標説明(式)		相生市空き家バンクのホームページへのアクセス件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	-	-	-	-	-	1,000	-	
	実績	-	512	-	713	139.3			

【効率性】

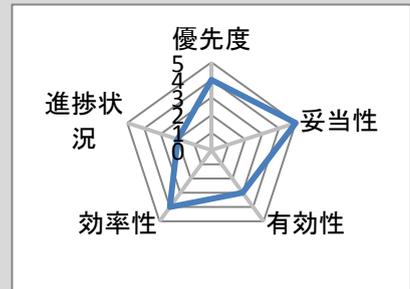
指標名1		登録事業者件数							
指標説明(式)		空き家バンク事業の取引を仲介する登録事業者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	-	-	-	-	-	10	-	
	実績	-	-	-	-	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	目的の妥当性	全国的に空き家が問題となっているなかで、危険空き家にさせないためだけではなく、人口減少対策の一助にもなるため、空き家の利活用を進める事業は妥当である。	5
	市民ニーズ	市内の空き家も増加してきているので、空き家を売却・賃貸したいというニーズはあると考えられる。また、市外の方が多いが、利用者についても田舎暮らしを考える人が多くみられる。	
有効性	成果目標(改善)達成度	平成26年度末までには、登録物件が少ないという状況もあり、目標に至っていない。	3
	市民サービス	物件所有者及び利用希望者の双方へ情報提供をすることで、物件の成約に至っている。	
効率性	手段の最適性	兵庫県宅地建物取引業協会西播磨支部と協定を結び、登録事業者と連携することが事業を進める上で利用者の安心も確保でき、最適な手段である。	4
	執行体制の効率性	兵庫県宅地建物取引業協会西播磨支部を通して、各登録事業者への通知、依頼等について効率的に行われている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	成約に至った物件もあるが、全体的に登録物件が少ない。	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	利活用可能な登録物件の確保



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	実地調査を行い、市内の空き家状況を把握し、所有者へ空き家バンクへの登録依頼を行う。

配点	32.5
総合評価	24.5

(2) 28年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	市内の空き家状況を調査し、空き家の有効活用に努める。
見直事項	
新規事項	
方向	継続 成果 拡大 総コスト 維持